

デーリィ Navi で酪農の作業を標準化

～訓子府実証農場での活用事例～

営農支援センター 訓子府実証農場 畜産技術課

TEL:0157-47-2192

E-mail:kunneppu-chikusangi jutu@hokuren.jp

背景

酪農現場では従業員の方を雇用する機会が増えておりますが、酪農の仕事は多岐に渡るため、作業者間における作業手順の標準化が求められております。釧路農協連、全酪連、ホクレンの3者は酪農用 SOP（作業標準手順書）のひな型を作成し、「デーリィ Navi」とし釧路農協連 HP で公開しました（令和2年8月）。

訓子府実証農場も従業員が多く、作業の標準化のためデーリィ Navi を参考に子牛用の SOP を作成し業務に活用しているので、事例として紹介いたします。



活用事例

子牛用 SOP 作成にあたって、まずやるべきことや省くべきことをスタッフと協議し内容を整理しました。従来の作業マニュアルよりも写真や図が盛り込まれ、作業手順の確認が楽になりました（右例）。また、哺乳牛舎の入り口など目に付く場所に設置することで、すぐに確認することができます。

さらに、新しい担当者へ作業を引継ぐ場合も必要事項をスムーズに伝えることができました。内容の変更についても、更新したい部分のみの差替えが可能となっています。



1. 出生後の処置

11 分娩室内ハッチへ移動 ✓ 適切な位置（分娩後新生子牛）参照を照した子牛をきれいなカーブハッチに入れる。	
12 初乳を搾る ✓ 清潔なバケツとミルカーを使用する ✓ 血乳・乳房炎の確認をする（血乳・乳房炎は廃棄） ✓ 搾乳したろ過液を使って品質（Brix値）を確認する Brix 値：25%以上（それ以外は廃棄） ✓ 貴重な初乳は冷凍して保存する	
13 初乳が足りない、使えない場合 ✓ 冷凍初乳を換ヤムする ✓ 初乳牛のたんばく質が濃いため、お湯の温度は30℃にして溶かす ✓ 溶けたら、初～2時まで初乳を量めて牛へ給与する。	
14 子牛への初乳給与 ✓ 子牛がしっかりと飲んでいるか確認する ✓ 最初の初乳は出生後30分以内で給与する ✓ 子牛の状態に応じて可能な限りなるべく早く給与することを基本条件とする	

子牛 3

ホクレン

ご活用にあたって

実証農場にて作成した子牛 SOP は、農場内での使用の他に、来場された方に向けた作業紹介や哺育育成センターとの情報交換などに活用しております。デーリィ Navi は釧路農協連 HP (<http://946nokyoren.or.jp/dairynavi/>) からダウンロードでき、ワード形式なので農場の実態に合わせて自由に書き換えられます。また、「子牛」の他に、「搾乳」、「分娩」、「乾乳牛」、「繁殖」、「飼料・水」、「蹄」、「農場衛生」の項目があるため、整理したい作業から SOP 作成に着手できます。

農場作業の平準化などをご検討されている方は、ぜひご活用ください。

